

環境行動計画の推進

国内活動事例

森遊学里山の会設立記念植樹祭

《東北リコー／日本》

森遊学里山の会は、2007年12月に発足し、宮城県柴田郡で活動する森林保全ボランティアグループで、東北リコーは、この団体の設立当初から活動を支援しています。2008年6月15日に開催された会の設立記念植樹祭には、会員と沼辺生産森林組合、柴田町、村田町、社会福祉協議会、太陽の村からの来賓を合わせて32名が集まり、東北リコーからも社員が参加。春は桜、秋はモミジと1年を通して季節の彩りを感じられるように選定されたカワズサクラ、イロハモミジ、ヤマザクラ、モミジ、カエデ、ナラ、クヌギ、クリなど合計約150本を、参加者は約1時間かけて丁寧に植林しました。



大呑（おおのみ）グリーンツーリズム

《リコー中部石川支社／日本》

リコー中部石川支社では、社員による地域の里山保全等のボランティアを積極的に行っています。2008年度はのべ333人の社員がさまざまな活動に参加しました。2008年6月には、石川県との「里山の利用・保全のための応援活動に関する協定」に調印し、企業ボランティアとして、地域の里山保全に協力することを表明しました。また、5月11日



と9月23日には、NPO 法人大呑グリーンツーリズム協議会主催の七尾市熊淵地区里山再生活動にのべ39名が参加し、田植え・稲刈りなどの農作業を行いました。参加者からは「春に自分たちが植えた稲を秋に刈り取りできてうれしい。また参加したい」などの声が聞かれました。

生物多様性勉強会

《リコー人事部／日本》

リコー人事部では、生物多様性保全活動の第一歩として、2008年9月に銀座、大森、品川、新横浜の各事業所の敷地内および周辺にどのような生き物がいるのかを調査しました。その結果を受け、2009年3月に大森事業所で「生物多様性勉強会」を開催。当日は、社員約20名が参加し、人と自然の研究所の

野口理佐子氏による「生物多様性とは何か」、リコー社会環境本部による「リコーの取り組む生態系保全について」などの講義が行われ、人と自然の研究所の三森典彰氏によるコンセプト・ワークショップ「生物の視点で考える環境の保全・再生」とフィールドワークの後、事業所のピオトーブづくりに関する質疑応答が行われました。



海外活動事例

地域と連携して行う生態系回復活動

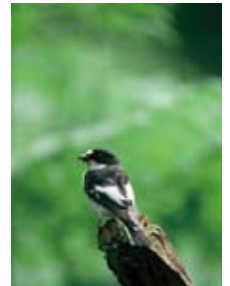
《リコーUKプロダクツ/イギリス》

イギリスの生産会社リコーUKプロダクツ(RPL)は、テルフォード地域一帯の生態系回復に貢献する活動を2008年6月に開始しました。活動の成果は、生態系の上位種である野鳥Pied Flycatcher(ヒタキの一種)の数をモニターすることで把握します。RPLが会長を務める地域の環境ネットワークBESST*では、これまで環境負荷の削減に取り組んできましたが、今後は生態系の保全や回復にも注力していきます。

* BESST (Business Environment Support Scheme for Telford): テルフォード周辺の日系企業や地域の企業、公共機関、教育・医療機関など、幅広いメンバーで構成されています。



活動に参加したRPLとShropshire Wildlife Trustのメンバー



保全対象のPied Flycatcher (ヒタキの一種)



巣箱をかけるRPL社長 中西 俊介(右)

市民への環境保全普及活動

《リコーチャイナ/中国》

中国の販売統括会社リコーチャイナ(RCN)は、上海市長寧区環境保護局が2008年6月に開催した「世界環境デー」を記念する市民への環境保全普及イベントに協力しました。植樹やクリーンアップなどを行った地区や学校への表彰を行ったほか、パネル展示による森林伐採や日照りによる環境劣化の現状や、家庭やオフィスでできる環境保全活動などを説明し、環境意識の啓発を行いました。



「世界環境デー」普及イベントに参加したRCN社員

生態系回復に向けた外来植物種駆除活動

《リコーヨーロッパ、リコーインターナショナル、リコーヨーロッパSCM/オランダ》

欧州の販売統括会社リコーヨーロッパとリコーインターナショナル、リコーヨーロッパSCMは、2008年9月、オランダのZuidkennemerland国立公園で、外来種の桜の駆除活動を行いました。この外来種の繁茂は地域に棲む他の動植物の生息を脅かすだけでなく、地域の植生にも影響を与えると同時に、水質の劣化を引き起こしていました。この活動は、自然保護区内の水源の維持と行政区内の家庭に飲料水の供給を行う公益企業のPWN(Provincial Waterworks North-Holland)から相談を受けて実施されたもので、当日は、すべての管理職を含む53名が参加し、外来種の駆除を行いました。



NPOとの連携による環境教育支援

《リコーオーストラリア/オーストラリア》

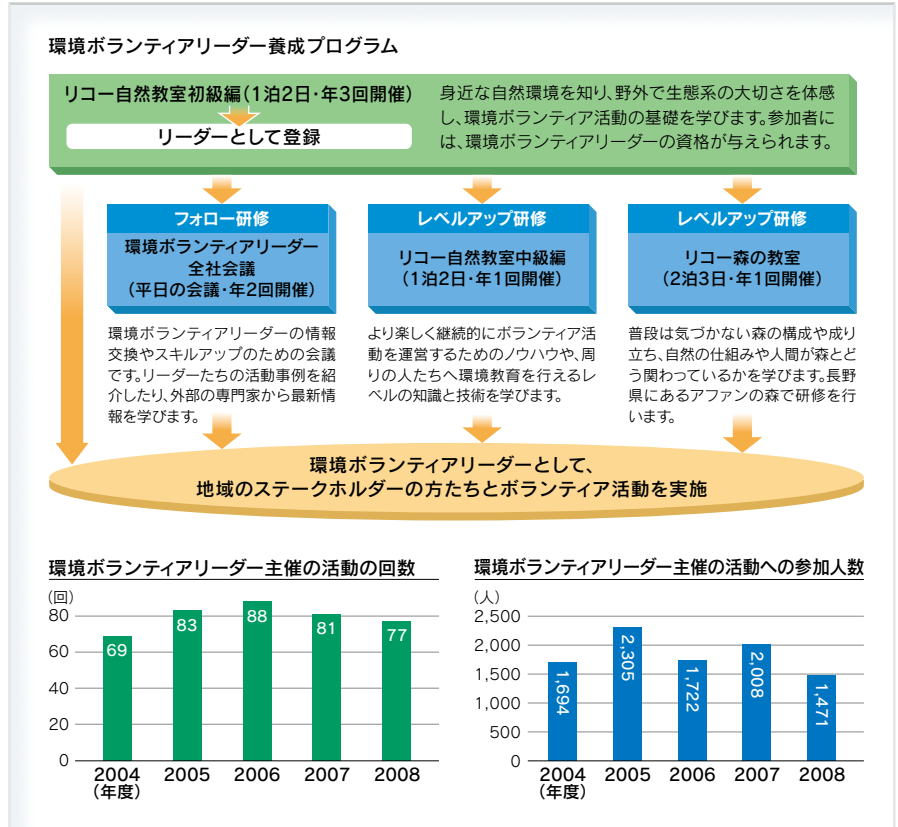
販売会社リコーオーストラリア(RAP)は、2003年から、国際環境NPO「The Institute for Earth Education」による「Earthkeepers™ program」を支援しています。これは、天然林の中で3日間、自然に触れることを通じて、「持続可能な生活を実現するために何ができるかを、子どもたちに感じ、学び、考えて、行動してもらおう」ことを目的としたプログラムです。これまでに10～11歳の子ども400人以上が参加しており、RAの社員もスタッフとして活動に参加しました。



環境ボランティア活動の推進

《リコーグループ/日本》

地球環境を保全するには、社員一人ひとりが地球市民としての意識をもって、自主的に社内外で活動を実践することが重要です。リコーは1999年6月から、社員を対象とする研修制度「環境ボランティアリーダー養成プログラム」をスタートさせ、2001年度にはリコーグループ社員および退職者も参加可能として、2008年度末までに、452人の環境ボランティアリーダーを養成しました。リーダーには役員も含まれており、各リーダーは、それぞれの所属する部署や地域を巻き込んで、環境ボランティア活動を展開しています。彼らの活動は、社員や家族・友人との活動から地域社会へと拡がりを見せています。



環境ボランティアリーダーの活動

リコーやどりき森睦会

2001年、神奈川県森林づくりパートナー制度をきっかけにやどりき水源林で活動を開始。その後2006年からは、丹沢・大山自然公園内で、ケヤキを中心とした混合林の管理・モニタリングを中心に活動を継続しています。メンバーは約20名で、一人ひとりが100年、500年先の森の姿を思い浮かべて活動を行い、環境学習の場に育てていくことを目標としています。



獅子ヶ谷緑地保全会

横浜市緑政局から横浜市鶴見区の緑地を紹介され、2003年から活動を開始したボランティアグループで、メンバーは近隣在住のグループ社員とその家族など約20名。定例の活動は毎月第3土曜日で、カントウタンポポの定置観察、間伐材を使った人形づくり、梅やツツジ並木の剪定、昆虫マンションの作製、指定文化財古民家のかや葺き替えの協力など、さまざまな活動を行っています。



リコー千葉ふれあいの森里山保存会

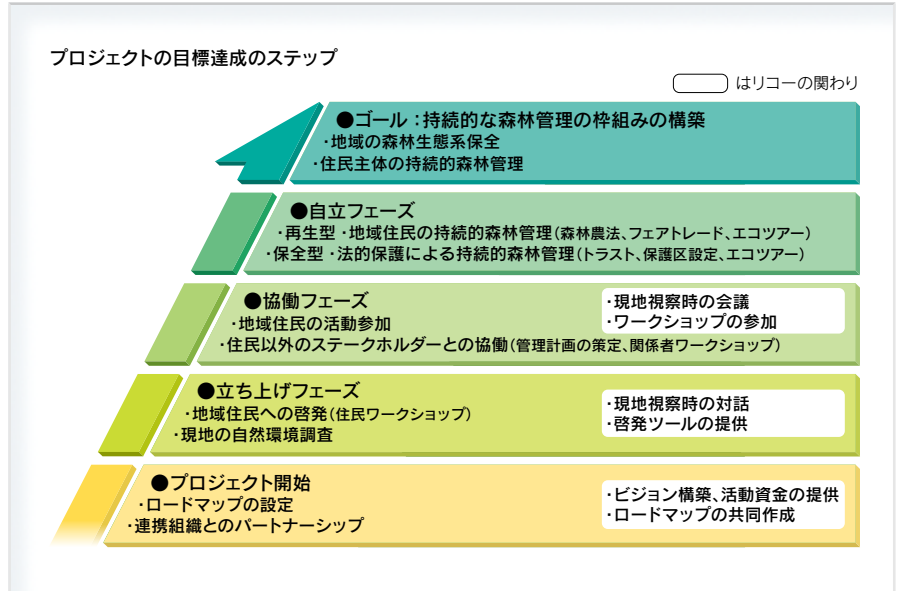
千葉市若葉区の里山の再生を目指した活動を行う、メンバー約20名のボランティアグループで、2004年に活動を開始。毎月第3土曜日が活動日で、杉ばかりの林から、子どもたちが自然に親しむことができる生き物豊かな雑木林に再生することを目指しています。農作物の栽培やカブトムシ捕りなど、子どもが親しめることを盛り込み、毎回メニューを変えた手作り昼食を皆で楽しんでいます。



森林生態系保全プロジェクト

《リコー／グローバル》

地球上には、森林、湖沼、珊瑚礁、海洋など、さまざまな生き物の生息地があり、それぞれに特有の生態系が保たれています。生態系が崩壊すれば、人類の生命維持に必要な自然環境も崩壊します。リコーは、生態系の中でも、とくに生物多様性が豊かな「森林生態系」に注目して、1999年度から環境NGOや地域とのパートナーシップのもとに「森林生態系保全プロジェクト」を展開しています。これらの活動は単なる植林とは異なり、土地固有の生物種の生息域や住民生活を守ることを主眼とするもので、環境NGOや地域住民とのパートナーシップを重視して行われています。活動の資金は、継続して社会貢献を行うためにリコーが設けた「社会貢献積立金」から拠出されています。株主総会での承認の



と、毎年の利益から年間配当を差し引いた金額の1%（上限2億円）が積み立てられます。

リコーの森林生態系保全プロジェクト（2008年3月末現在）

開始年月	国名	名称／NGOパートナー	活動内容	進捗状況			
				立ち上げ	協働	自立	ゴール
1999年6月	バングラデシュ	さとやまの復元／ポーシュ	子どもの教育と植林・育苗の仕事の提供。2007年度で終了。	→			2007年
2000年2月	スリランカ	世界遺産地域の森林保全と復元／スリランカ野鳥学グループ	スリランカオナガの住める森を残し、拡大する。2007年度で終了。	→			2007年
2000年3月	フィリピン	熱帯雨林回復*／コンサベーション・インターナショナル	フィリピンワシに代表される森の生物たちと人が共生していくことのできる豊かな森の回復。	→			
2000年10月	マレーシア	熱帯林・オランウータン生息域回復*／WWF	オランウータンに代表される、絶滅の危機に瀕している生物の生息空間を拡大。	→			
2001年11月	中国	温帯林・バンダ生息域回復*／WWF	バンダを代表とする437種の脊椎動物や4,000種の植物など貴重な生物のすみかを残し、絶滅種をなくす。2007年度で終了。	→			2007年
2001年11月	日本	長野黒姫アファンの森保全*／財団法人C.W. ニコル・アファンの森財団	クマ、ヤマメなど多様な生物が生きていることのできる広さと食べ物があり、人も親しむことができる天然林の維持。	→			
2001年11月	日本	沖縄やんばる森林保全*／やんばる森のトラスト	ヤンバルクイナに代表される、世界でここしか見られない貴重な生物のすみかを残す。	→			
2002年3月	ガーナ	熱帯雨林回復*／コンサベーション・インターナショナル	日陰で育つかカオを利用した持続的森林農業による、人と生物たちが共生できる森の復元。	→			
2004年5月	ロシア	北限のトラ生息域タイガ保全*／FoE Japan	アムールトラをはじめとするさまざまな生物と人が共生する豊かな森の保全。	→			
2007年8月	中国	三江併流世界遺産の生物多様性保全*／アジア緑色文化国際交流促進会	キンシコウなどの希少動物が見られる世界自然遺産地域の森林の保全。	→			
2007年8月	ブラジル	大西洋岸低地熱帯林ポアノバにおける森林復元*／パードライフアジア	最大時の7%にまで減少してしまった大西洋沿岸一帯の熱帯林を復元し、住民が森林と共生できる社会を実現する。	→			

*「社会貢献積立金制度」の対象プロジェクト

ボアノバの森林復元プロジェクト

ブラジル・バイア州ボアノバ地区に広がる大西洋岸低地熱帯林地域は、アマゾンと灌木草原地域に次いでブラジル第3位の植生を形成し、希少動植物の貴重な生息域となっています。しかし、違法伐採、プランテーション、焼畑、過放牧などともなう破壊により最大時の7%程度にまで減少してしまいました。環境NGOバードライフアジアにより開始さ



プロジェクトのシンボル種ハチドリ



フィールド学習に参加した地域の子どもたち

れた森林復元プロジェクトは、森林農法やバードツーリズムの普及などにより、住民が森林と共生できる循環型社会の実現を目指しており、リコーは、2007年から活動を支援しています。2008年度は、プロジェクトのシンボル種であるハチドリの生態調査、現地の小学生を対象にしたフィールド学習や住民対象のセミナー開催、薪の使用状況調査、土地所有者80名へのセレモニー招致などの活動が行われました。

アフンの森保全プロジェクト

長野県黒姫の「アフンの森保全プロジェクト」は、C.W.ニコル・アフンの森財団との連携により、2001年にスタートしました。一度荒廃した森の生態系は容易には回復せず、自然の再生力だけでは数百年の歳月を要するため、人が適切に関わって再生の手助けをすることが重要です。プロジェクトでは「自然の遷移に

合わせた長期的に安定した天然林の回復と保全」を目標として、優先的に成長を促す樹木の選定や、天然更新しやすい環境の整備を行ってきました。活動の結果、森の生き物たちの種類が確実に増えていることが確認されています。100年後の森の姿をイメージして、「計画に合わせた活動の実施」、「効果を検証するための調査」を繰り返し行い、人が関わることで森の再生力を高めるより良い方法を選びながら活動しています。



活動により再生された森の様子

環を拡げる活動

リコー地球環境月間シンポジウム

《リコー／日本》

2008年6月、第3回「リコー地球環境月間シンポジウム」を開催しました。これは「持続可能な社会を共創するために」をメインテーマに2006年から開催しているもので、「生物多様性の恩恵を共有する。企業と地域社会、持続的な発展を目指して」と題した今回は、企業の環境担当や環境NGO、学生の方々、リコーグループの役員、社員など合計約180名が参加しました。事例講演では、企業やNGOの連携による活動事例と、リコーが支援する森林生態系保全プロジェクト「ガーナ・熱帯雨林回復」の講演が行われました。また、パネルディスカッションでは、「資源の供給など、人間社会に対して多くの恩恵を与えている

生態系サービスが企業活動を支えていることを理解し、地域社会、NGO、行政などさまざまなステークホルダーと連携して生物多様性を保全していくことが大切」などの活発な議論がなされました。



子ども向け環境学習サイト

《リコー／グローバル》

リコーの環境Webサイトでは、子ども向け学習サイト「Ecotoday テンペル・タートルストーリー」*を公開しています。ここでは、ロシア、ガーナ、マレーシア、日本などでリコーが支援している森林生態系保全活動の内容をやさしく解説。クイズやゲーム形式で楽しみながら環境問題について学ぶことができます。

* <http://www.ricoh.co.jp/ecology/ecotoday/>

